

# 野生動物保護募金助成を活用した取り組みの一例

## ～兵庫県のホトケドジョウ保全の取り組み～

山科ゆみ子<sup>1)</sup>、大塚剛二<sup>1)</sup>、足立隆昭<sup>1)</sup>、長居克己<sup>1)</sup>、杉本義治<sup>1)</sup>、  
矢尾謙三郎<sup>1)</sup>、井本満也<sup>1)</sup>、和田成史<sup>1)</sup>、角谷慶二<sup>1)</sup>、近藤まさ子<sup>1)</sup>、  
東口信行<sup>1)2)</sup>、國居彩子<sup>1)2)</sup>  
(丹波地域のホトケドジョウを守る会<sup>1)</sup>、神戸市立須磨海浜水族園<sup>2)</sup>)

### 1. 背景

ホトケドジョウは、コイ目タニノボリ科に属する日本固有種で、環境省レッドリストで絶滅危惧 I B 類、兵庫県レッドデータブックの A ランクに指定されている。兵庫県が本種の分布の西限にあたり、県内の生息地は丹波地域のわずか 5 ヶ所のみで、圃場整備等により個体数が減少している。また、地域住民への普及啓発も進んでいない。そこで当団体では 9 年間に渡り、継続的にフィールド調査、生息地の再生や造成、新たなホトケドジョウ生息地の探索、地域住民への普及啓発活動を実施している。本発表では 2012 年 4 月から 2015 年 3 月までの 3 ヶ年、公益社団法人日本動物園水族館協会の野生動物保護活動助成事業を活用し、丹波地域のホトケドジョウを守る会と神戸市立須磨海浜水族園が協同で実施した域内保全活動について報告する。

### 2. 活動内容

活動は大きく分け、フィールド調査、生息地の再生と造成、地域住民への普及啓発の 3 つがある。フィールド調査では、2012 年 5 月から 2015 年 3 月にかけて月 1 回、4 地点 (A : 湿地、B : 用水路、C : ため池、D : 湿地) で、各定点にてタモ網による採捕調査、仔稚魚の目視調査、水質調査を行った (写真 1 参照)。生息地の再生と造成では、浅場の陸地化や増水による個体の流出を防ぐための泥浚い、新たな生息地の造成を行った (写真 2 参照)。また、地域住民への普及啓発では、活動を紹介するパンフレットの作成と配布、講演会、環境学習などを実施した (写真 3、4 参照)。



写真 1 採捕調査



写真 2 生息地の造成



写真 3 普及啓発活動



写真 4 作成したパンフレット (A4 巻三つ折り)